



▲交流棟外観

愛知県立芸術大学 彫刻専攻棟

長久手市岩作三ヶ峯1-114

構造／[交流棟] RC造一部木造2階建て
 [北アトリエ棟 (学部生用)] RC造一部木造平屋建て
 [南アトリエ棟 (院生用)] RC造一部木造平屋建て
 [三工房棟 (金・土・木)] RC造一部S造平屋建て
 [石工房棟] RC造一部S造平屋建て
 [更衣室・トイレ] RC造平屋建て
 [資材庫] RC造平屋建て

※彫刻専攻棟は上記7棟の総称

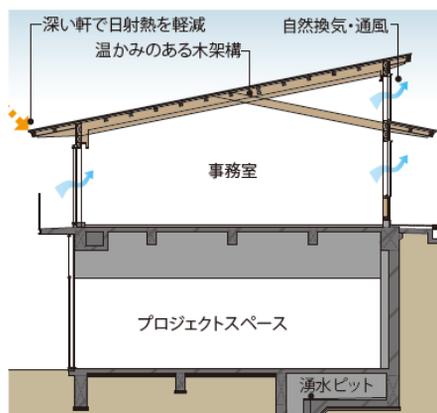
延床面積／1,570㎡ 竣工／2023年12月

木材使用量／188.34㎡
 (うち あいち認証材58.89㎡)

施主／愛知県

設計／株式会社安井建築設計事務所

施工／建築工事：株式会社高柳組 (第一工区)
 大数建設株式会社 (第二工区)



▲交流棟構造



▲交流棟内観

木材を使用したリラックス空間 により交流が弾み、学生のイマジ ネーションが膨らむことを期待

新彫刻棟エリア「彫刻専攻棟」の中心にある三工房（金・土・木の各素材に対応）を、学部生・院生それぞれのアトリエで取り囲み、あらゆる創作活動が屋内外を問わずエリア全体で展開される配置となっている。

既存キャンパスとの交流が生まれるようエリアの東側に温かみのある木材を用いた彫刻交流棟を配置し、訪れる人をやさしく迎え入れる計画となっている。